

令和3年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査における

北九州市立 高槻 小学校の結果分析と今後の取組について

スポーツ庁による「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」について、令和3年6～7月に、5年生を対象として、「運動習慣等」についての調査を実施いたしました。
この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。
本結果は、学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にしていただきたいと思います。
運動習慣は、学校のみでなく、家庭で運動を一緒に「する・みる・話す」ことが大切です。本校では、運動習慣の確立と授業の充実により、総合的に体力の向上を目指しています。ご家庭でも運動習慣の確立に向けた取組の充実をお願いします。

※ 本年度、本市においては「体力・運動能力」についての調査は実施していません。

1. 調査の目的

- (1) 国が全国的な子供の体力の状況を把握・分析することにより、子供の体力の向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 各教育委員会が自らの子供の体力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、子供の体力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (3) 各学校が各児童生徒の体力や運動習慣、生活習慣等を把握し、学校における体育・健康に関する指導などの改善に役立てる。

2. 本市における調査内容

(1) 質問紙調査

運動習慣、生活習慣等に関する質問紙調査

※ 本校の5年生は、単学級ですので、個人が特定されるような公表の方法については、配慮しています。

3. 運動習慣や生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要

質問紙調査の結果分析

- ・ 全体的に朝食をきちんと摂取できているが、睡眠時間については、やや少ない傾向にある。
- ・ 放課後や休日にスポーツクラブ以外で、運動することは、男子は、「している児童」と「あまりしていない」と「していない」等、ばらつきがあるが、女子は、全体的に少ない傾向にある。
- ・ 男女とも、体を動かすことが好きな児童は、全国平均と同等である。また、目標をもって運動に取り組もうとしている児童は、女子が全国平均と同等で、男子は、目標を意識して設定している児童がやや少ない傾向にある。

4. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科(授業)に関する取組(全校で・学年で・学級で)

- ・ 全校での「高槻オリンピック(新体力テスト)」、「ランニングタイム、授業における5分完走」等の学校行事・授業を通して、運動に関する関心・意欲の向上を図る。
- ・ 特別活動(学級活動)や体育科(保健)の授業や朝の会・帰りの会、健康観察等で、健康的な生活習慣の育成に向けた授業づくりや保健指導に取り組む。

② 運動習慣等に関する取組(1校1取組)

- ・ 「朝の会」や「帰りの会」でのめあての設定や委員会(保健体育委員会を中心に)による啓発活動等に取り組む。
- ・ 縦割りグループによる活動を年間を通して行う。(未実施)